

2017年度活動報告

フランス文学教室／フランス語圏文化論教室

1. フランス文学教室の活動

4月5日 フランス語圏文化論教室オリエンテーション（学部・大学院合同）

5月24日 講演会「人文書出版と業界再編——出版社と書店は生き残れるか」

講師：小林 浩（月曜社取締役・編集者） 司会：西山雄二（本学准教授）

8月3日 第一回論文中間報告会

修士論文公開審査

10月25日 研究会集「〈系列〉と〈論争〉を通して見るフランス文学」

Journée d'étude : Série et débat d'idées dans la littérature française

主催：首都大学東京人文科学研究科フランス文学教室

科学研究費基盤研究（C）「17-18世紀フランス文学における「恋愛論争」の間テクスト的研究」（研究代表者 藤原真実）

共催：科学研究費基盤研究（B）「18世紀における知識とマナー、秩序：公共知の東西比較」（研究代表者：高橋博巳）

後援：日本18世紀学会

会場：首都大学東京南大沢キャンパス国際交流会館 中会議室（第1部）レストラン（第2部）大会議室（第3部）

第1部 13：00～14：45 司会：ジョスラン・グロワザール（本学准教授）

「仮想討論会としてのフランス文学」藤原真実（本学教授）

「18世紀の小説と思想論争」ジュヌヴィエーヴ・アルティガス＝ムナン（パリ＝エスト＝クレティユ（パリ第12）大学名誉教授）

「18世紀の思想論争をめぐって —バルザック作品からのアプローチ」大須賀沙織（本学准教授）

第2部 15：00～16：00 レクチャーコンサート：〈系列〉、〈論争〉の観点から室内楽・声楽作品を考える Concert-conférence : Autour du débat musical

司会・フルート 村中由美子（本学助教） フルード 山本潤（本学准教授）
 歌唱・解説 大久保康明（本学名誉教授） ピアノ 鈴木麻純（本学大学院生）
 歌唱 大久保藍（東京芸術大学音楽学部学部生）

第3部 16:15～18:00 司会：ジョスラン・グロワザール

「思想論争の系列的構造」シルヴァン・ムナン（パリ＝ソルボンヌ（パリ第4）
 大学名誉教授）

「『コリドン』から『ソドムとゴモラ』へ——親近それとも対立？」吉川一義（本
 学および京都大学名誉教授）

質疑応答（通訳：ジョスラン・グロワザール 村中由美子）

11月30日 第二回論文中間報告会

2月8日 卒業論文公開審査

2. 修了者論文題目一覧

修士論文

トラリ・カリン「フランスと日本で働く女性が遭遇する障害の比較」

卒業論文

大泉佳菜「アベ・プレヴォー『マノン・レスコー』——デ・グリユとマノンはなぜ
 逃げ続けなければならなかったのか」

久保田椋佑「メビウスからみるバンド・デシネと日本のマンガ」

二宮麻衣「フランスにおける移民第2世代の社会統合——就学の視点から」

吉見愛以「『青い鳥』におけるドーノワ夫人の文体について」

3. 教員・大学院生の研究活動

（書籍、論文、翻訳、学会発表など）

藤原真実

〔口頭発表〕

「仮想討論会としてのフランス文学」研究集会「〈系列〉と〈論争〉を通して見るフ

ランス文学」、首都大学東京、2017年10月25日。

« Approches numériques des questions d'auctorialité (3) : à propos du 4ème Cahier des Difficultés sur la religion de Robert Challe », samedi 17 mars 2017 Labex OBVIL (Observatoire de la vie littéraire), Université Paris-Sorbonne.

[翻訳]

ジュヌヴィエーヴ・アルティガス＝ムナン 「18世紀の小説と思想論争」 藤原真実訳、『人文学報』、2018年3月。

シルヴァン・ムナン 「思想論争の系列的構造」 「18世紀の小説と思想論争」 藤原真実訳、『人文学報』、2018年3月。

[その他]

新聞記事：「まごころだけの相手愛せるか」 『しんぶん赤旗』 金曜名作館、2017年6月29日。

主催：研究集会「〈系列〉と〈論争〉を通して見るフランス文学」、首都大学東京、2017年10月25日。

西山雄二

[書籍]

Derrida-Levinas : Alliance Awaiting the Political, dir. Orietta Ombrosi and Raphael Zagury-Orly, Mimesis, 2018.

「フクシマ以後、二〇世紀における人間の生存条件を問う」、西谷修『いま、「非戦」を掲げる』、青土社、2017年。

[論考]

« L'adresse de l'entre-nous : l'interprétation plastique de Hegel chez Jean-Luc Nancy », *Les Cahiers philosophiques de Strasbourg, Jean-Luc Nancy: penser la mutation*, édés par Jérôme Lèbre, Jacob Rogozinski, n° 42/2017.

“What remains of Philosophers' Reflections on University?”, *Tetsugaku: International Journal of the Philosophical Association of Japan*, No. 1, 2017, pp. 92-106.

[翻訳]

モーリス・ブランショ『終わりなき対話』第二巻、湯浅博雄・岩野卓司・上田和彦・大森晋輔・西山達也・西山雄二訳、筑摩書房、2017年、全496頁。

アレクサンドル・コイレ「嘘をめぐる省察」西山雄二・大江倫子訳、『多様体』第1号、2018年1月。

ジャック・デリダ×ミカエル・ベン＝ナフタリ「アウシュヴィッツ以後の脱構築」西山雄二・渡名喜庸哲訳、『人文学報』、2018年3月。

サミュエル・エステイエ「ウエルベック批評の十年」八木悠允・西山雄二訳、『人文学報』、2018年3月。

[学会発表]

司会、小林浩「人文書出版と業界再編——出版社と書店は生き残れるか」、首都大学東京、2017年5月24日。

発表「デリダ『嘘の歴史 序説』の概要と問題提起」、「ポスト・トゥルース時代における「嘘の歴史」——アーレントとデリダから出発して」、第26回 新潟哲学思想セミナー (NiiPhiS)、アーレント研究会&脱構築研究会共催企画、新潟大学、2017年6月23日。

司会・発表「『嘘の歴史 序説』について」、シンポジウム「デリダと宗教的なもの」、慶應義塾大学、2017年7月15日。

発表 « Jacques Derrida, *Séminaire : La peine de mort, Vol. II, Sixième séance* », Lire-travailler Derrida, École normale supérieure, 18 octobre 2017.

講演 « Before the Door in the Land of the Rising Sun: Jacques Derrida in Japan », The University of Sofia – Tokyo Metropolitan University Joint Symposium, The University of Sofia (St. Kliment Ohridski), 2 November 2017.

発表 « Une zoo-politique du mensonge chez Jacque Derrida », Colloque international « DERRIDA-le don de la différence », Universidade de Coimbra, 16-18 nov. 2017.

発表「歓待の試練に曝されるデリダ」、INALCO、2018年2月6日。

発表 « Jacques Derrida, Spéculer- sur Freud, I. Avertissement », Lire-travailler Derrida, École normale supérieure, 7 février 2018.

司会、阿部彩講演「日本の子どもの貧困」、INALCO、2018年3月8日。

発表 « Hauntologie de Fukushima », Journée d'étude, « La Catastrophe devant soi », Columbia Global Center Paris, 26 mars 2018.

司会、Journée d'étude「『脱原発の哲学』を読む」、INALCO、2018年3月28日。

ジョスラン・グロワザール Jocelyn Groisard

〔論文〕

J. Groisard, "Hybridity and Sterility in Aristotle's *Generation of Animals*", in D. Lefebvre and A. Falcon (éd.), *Aristotle's Generation of Animals: A Critical Guide*, Cambridge University Press, 2018, pp. 153-170.

〔発表〕

J. Groisard, "Catastrophe and Cyclical Time in Ancient Thought", Université de Sofia (Bulgarie), 3 novembre 2017.

大須賀沙織

〔論文〕

« La transmission et la réception de *L'Imitation de Jésus-Christ* au Japon », *Les Voies intérieures. Mélanges offerts à Marie-Josette Le Han*, Brest, Université de Bretagne occidentale, décembre 2017.

〔学会発表〕

"Swedenborg and French Romantics", International Conference "Emmanuel Swedenborg and the Arts", Bryn Athyn College (Pennsylvania), June 8, 2017.

「18世紀の思想論争をめぐって ―バルザック作品からのアプローチ」、研究集会「〈系列〉と〈論争〉を通して見るフランス文学」、首都大学東京、2017年10月25日。

「ギュイヨン夫人の霊性 ―幼子イエスにならいて」、上智大学中世思想研究所主催シンポジウム「キリスト教霊性の本質」、上智大学、2017年11月19日。

「ギュイヨン夫人からバルザックへ ―幼子イエスの信心をめぐって」、東京バルザック研究会、東京外国語大学、2017年12月23日。

村中由美子

〔口頭発表〕

研究発表、「〈あいだ〉の作家、マルグリット・ユルスナールと『源氏物語』」、共同研究会「多文化交渉における〈あいだ〉の研究」、国際日本文化研究センター、2017年7月30日。

国際シンポジウム発表、「Marguerite Yourcenar, lectrice du Genji », Colloque

international, « Marguerite Yourcenar et le monde des lettres », Société internationale des études yourcenariennes (SIEY), Université Clermont Auvergne, 13 octobre 2017.

司会（フランス語）とフルート演奏、レクチャーコンサート「〈系列〉・〈論争〉の観点から室内楽、声楽作品を考える」、研究集会「〈系列〉と〈論争〉を通して見るフランス文学」、首都大学東京、2017年10月25日。

研究発表（予定）、「マルグリット・ユルスナール『火』（1936）における神話的人物のリライトをめぐる」、シンポジウム「引用の文化史 — フランス中世から20世紀文学における書き直し（リライト）の歴史」、白百合女子大学、2018年3月23日。

〔雑誌記事〕

「新たなユルスナール — 書簡集が明かす渡米初期」、『ふらんす』1月号、「特集：ユルスナール没後30年」、白水社、2017年12月21日、21～22ページ。

〔スタージュ参加〕

フランシュ＝コンテ大学附属CLA（Centre de Linguistique appliquée）主催、FLE夏期スタージュ、ブザンソン、2017年8月14日～25日。

大江倫子

〔論文〕

「『存在と時間』の彼方へ — デリダ『ハイデガー』講義の視点から」、ハイデガー研究会編『Zuspiel』第1号、2017年、ISSN 2433-3344、p. 120-134、<https://heidegger2017.wixsite.com/mysite/zuspiel>

〔学会発表〕

「後期デリダにおけるハイデガーの遺産相続 — 『死を与える』と責任、贈与」、日本哲学会研究大会、一橋大学、2017年5月20日。

「後期デリダにおけるハイデガーの遺産相続 — 『法の力』と正義」、日仏哲学会秋季研究大会、明治大学、2017年9月2日。

「初期デリダにおけるハイデガーの遺産相続 — 『ハイデガー講義』についての一考察」、日本現象学会研究大会、大阪大学、2017年11月12日。

「後期デリダにおけるハイデガーの遺産相続 — 『他の岬』と歴史性」、日仏哲学会

春季研究大会、南山大学、2018年3月24日。

[シンポジウム発表]

「『存在と時間』の彼方へ — デリダ『ハイデガー』講義の視点から」、ハイデガー研究会『存在と時間』90周年シンポジウム「『存在と時間』2017」、青山学院大学、2017年11月25日。